

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.29 Spring 2014

アセビは、2月下旬～5月にかけて咲く花です。春の訪れを感じますね。



写真：アセビ



特集 海上の森はいま

「海上の森調査報告書 第3号」を発行しました！

海上の森散歩 篠田砂防池



<愛知には愛知の里山観があっていい>

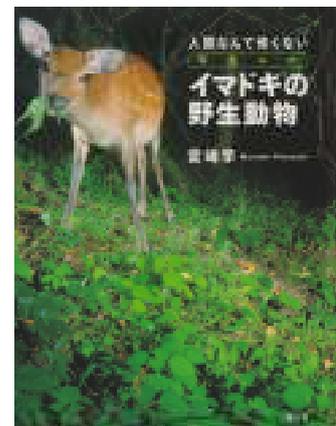
名古屋大学大学院生命農学研究科

田中隆文 准教授

ライフラリー図書を紹介します！

人間なんて怖くないイマドキの野生動物 宮崎 学 著

この本には、動物写真家である宮崎学さんが撮った里山の動物写真が掲載されており、その写真の動物たちは山奥ではなく、人家のすぐ近くで活動している動物ばかりです。「イマドキの動物」とは、こうして人間のすぐ側に堂々と現れる動物たちを指します。動物たちの行動範囲を変えてしまったのは、我々人間が山を切り開いて里山の環境を変化させてしまったことが原因となっています。昔は、人と動物が上手く住み分けをしていましたが開発などが進む中でその境界線があやふやになり、二次的被害も起こっています。この本では、写真を通して動物たちとの関わり方について考える一冊となっています。



海上の森調査報告書第3号から見えてくる「いま」

平成25年次中に実施した調査の結果を「海上の森調査報告書第3号」として本年3月に報告しました。今回の調査、観察などから見えてくる「海上の森のいま」の一部を紹介します。

森林のモニタリング調査では前回と今回の比較を行いました。前は平成20年で、5年間の変化を見るということになります。結論から言って、遷移は確認できませんでした。調査区2では前回確認された種数は50種、今回確認された種数は51種でした。しかし、前回確認された種で今回確認できなかった種は

16種、逆に今回だけ確認された種は17種、ですから34種が前回から今回まで成育していた種ということになります。

さて、これは何を意味するのでしょうか。興味のある方は一度、調査報告書をご覧ください、「海上の森のいま」をご自身で考えるのも1つだと思います。

なお、4月1日からこの調査報告書を60冊ほど一般の方に配布しております。ご希望の方は、センターまでお越しください。

文筆：SKI62

海上の森散歩



篠田砂防池



海上の森の北部に位置する篠田砂防池は、静かでもとても大きく、眺めていると心安らぐ場所です。池に生息する魚や藻を求めてカワセミやアオサギ、カイツブリなど、水辺の鳥たちが利用している姿を観察することができます。

夏になると、ギンヤンマやオオヤマトンボが池の周りを大きな輪を描きながら気持ちよさそうに飛ぶ姿も見ることができます。

晴れた日には、池に映し出される周囲の森と空がとても美しく、眺めていると、つい時間を忘れてしまいます。



所要時間

森の入り口駐車場～篠田砂防池：徒歩 約1時間



人と自然の共生国際フォーラム

昨年10月12日に、愛・地球博記念公園内の地球市民交流センター（長久手市）にて、「第7回人と自然の共生国際フォーラム」を開催いたしました。「子どもたちとともに考えよう、人と自然の共生」をテーマに、宇宙飛行士の毛利衛さんによる特別講演、中日新聞社主催「地球未来こども塾」に参加した子どもたちを交えたパネルディスカッションなどを実施いたしました。この第7回フォーラムの報告書は、フォーラムホームページ (<http://www.mu-academy.jp/forum/kaisai-hokoku2013.aspx>)で概要版を見ることができ、当センターにて詳細版や英語版も配布しておりますので、ぜひご覧ください。ESD(持続可能な開発のための教育) ユネスコ世界会議の開催年である今年の第8回フォーラムは、10月4日と25日の2回に分けて開催する予定です。

Twitter や Facebook でも随時情報を発信していきますので、ぜひフォローや「いいね!」をして、情報をチェックしてください。



<愛知には愛知の里山観があっていい!>

名古屋大学大学院 生命農学研究科 田中 隆文 准教授

人はなぜ里山や自然に魅せられるのか、ということをごろろ考えています。とは言っても、人の好みは様々で、GWや夏のレジャーの行き先として、自然が豊かなところを選ぶ人もいれば、遊園地やテーマパークに行く人もあり、あるいは名利名勝や博物館を巡る人もおられるでしょう。

でもこれらの様々な場所についても相通ずる共通項みたいなものがある、それが人々の心の奥深いところを魅了しているのではないかと感じています。

里山⇌自然公園⇌日本庭園⇌遊園地⇌テーマパーク⇌万博⇌博物館

と、近似式の記号(⇌)で繋げていけば、「友達の友達は友達」的な論理で、里山も繋がります。

もちろん近似記号はイコールではなく、例えば里山と自然公園では「生活」の比重が異なるし、

日本庭園は自然公園に比べ囲い込みや見たてなどバーチャル的な要素も強くなります。こういう違いに目をつむっても、なお違和感があるのはどの近似記号ですか?と、クラスで問うたところ、日本庭園と遊園地の繋がりに強引さを感じるという意見を多く頂きました。

尾張徳川家の江戸下屋敷「戸山山荘」には宿場の町並みに似せた疑似の商店街があり、お殿様たちが買い物遊びに興じ、さらには庭園内の川を渡った途端に増水するというリスク&スペクタクルな仕掛けもあったそうです。「日本庭園⇌遊園地」を尾張徳川家は実行していたわけです。里山を近似記号の繋がりで連ねて、愛知には愛知の里山観があっていいのでは、と思います。人それぞれの里山観、みなさんはどんな近似記号の繋がりを連ねますか?



プロフィール

尾張旭市在住。専門は山地防災論および森林水源涵養機能論。砂防学における「知の野生化」研究会主宰。あいち海上の森大学運営委員。

センター職員の随想リレー

かたりべのひと言!

サンショウウオは、いなくても

海上の森に勤務してはや一年が過ぎました。ここでは、市街地ではなかなか見られない生き物に会うことができ、それを楽しみに通っています。それにしてもこの豊かな森に、サンショウウオはいないのでしょうか?もちろん瀬戸市内の一部河川にオオサンショウウオが生息していることは有名ですが、海上の森では確認されていないようです。名古屋市内に生まれ育ちながら、カスミ(トウキョウ)サンショウウオを見て(いじめて?)過ごした私は、サンショウウオに強い思い入れがあります。海上の清水で暮らすサンショウウオが見られたら……。でもこの森には数多くの生き物を育む自然があります。今は様々な花が咲き、“春の匂い”を感じられる季節となりました。皆さんも海上の自然を目、耳、鼻で体感しにいらしてください。(T. K)

森のなかま

ホオノキのスケッチ

【ホオノキ】

ホオノキは、モクレン科モクレン属の落葉広葉樹です。海上の森にも生育しており、花は5月頃に見られます。ホオノキは、「朴の木」と書きますが少しイメージが異なる漢字(感じ)です。朴は、朴念仁や素朴という字の

とおり「飾り気がない」「気が利かない」などの意味のようです。しかし、ホオノキの花は大振り美しく、葉は朴葉味噌に代表されるように包みものに使われるほど大きなものです。飾り気があり、気が利く木と思いませんか。

文・絵: SKI62



展示の目玉

隠れているのはだれ??

森を散策していると、物陰で何か動く音がしたり、樹木や藪の間を縫うように動物が通り過ぎたり。動物と出会っても木の葉や枝などに隠れて、なかなかその姿を見ることができません。今回の「隠れているのはだれ??」という展示では、そんな場面を考えながら作りました。展示はクイズ形式になっており、木や草の後ろに隠れている動物たちが誰なのかを、動物の特徴をヒントにして当てるようになっていきます。問題の手前にある、番号がふってあるパネルのフタを開くと答えがわかり、その動物の生態についても説明がしてあります。問題は全部で15問あります。中には難問も用意してありますので、挑戦してみてください。



海上の森体験学習プログラム(6月~8月分)



イベント名	開催日 時間	定員	募集期間
初夏の海上の森 (調査学習会)	6/1(日) 9:30~14:30	30名	4/1(火)~5/18(日)
海上の森のキノコ (調査学習会)	7/20(日) 9:30~14:30	50名	5/20(火)~7/6(日)
海上の森の水生生物 (調査学習会)	8/3(日) 9:30~14:30	30名	6/3(火)~7/20(日)

対象：小学生以上、小学生は保護者同伴

《応募方法》

官製はがき、FAX または E-mail に ①参加希望プログラム ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号を記入し (応募者の住所などが異なる場合は全員分)、申込期限 (当日消印有効) までに下記の申込先へお申し込みください。申込多数の場合は、抽選により決定し、結果を通知いたします。

《申込・問合わせ先》

調査学習会・・・海上の森の会 〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1 電話/FAX : 0561-21-9298

森の楽校・・・あいち海上の森センター 〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1
電話 : 0561-86-0606 / FAX : 0561-85-1841
E-mail : kaisho@pref.aichi.lg.jp

編集後記

春になり、海上の森には賑やかさが戻ってきました。これから冬の間準備をしていた草木の花芽が咲いて、森を彩り、虫たちも暖かさとともに活発になっていきます。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成26年4月22日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: http://www.pref.aichi.jp/kaisho/

